撮影箇所一覧表

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
着手前 (測　点)		着手前	工事路線の全景及び代表部分同一箇所 (測点)で同一方向から撮影する	着手前	40m毎に1箇所
着手前		〃	着手前の路面状態	〃	必要に応じ適宜
完　成 (測　点)		完　成	工事路線の全景及び代表部分同一箇所 (測点)で同一方向から撮影する	完成後	40m毎に1箇所
完　成		〃	路面の復旧状況	〃	必要に応じ適宜
準備工事	調査工	試掘調査工	掘削後の幅・延長・深さが確認できること 埋設物の埋設状態 （埋設物間の離隔・寄り・土被り状況）	施工中	試掘調査箇所毎に1回
	境界明示杭・ 鋲調査工	境界明示杭・ 鋲調査工	支障または影響を受ける境界明示杭、鋲等の位置状態	施工前	必要に応じ適宜
	家屋施設調査工	家屋施設調査工	沿道家屋等の調査状況(着手前・完成後)	施工前・後	〃
安全管理	保安設備工	標識類の設置状況	各種標識類の設置状況 (交通規制標識・工事表示板等の各種標識)	設置後	種類ごとに1回
		保安施設の設置状況	各種保安施設の設置状況 (防護柵、セーフティコーン等の配列状況及び形状)	〃	〃
		交通整理状況	交通誘導警備員の交通整理状況	作業中	5作業日に1回以上
	安全訓練	安全訓練の実施状況	安全訓練等の実施状況	実施中	実施ごとに1回 (月ごとに1回)
材料検査	材料置場	配管材料等の搬入状況	配管材料等の搬入状況及び材料置場の全景	作業中	実施毎
		配管材料等の保管状況	配管材料等の保管状況及び材料置場の全景	保管中	毎月1回
	配管材料検査	配管材料検査	検査の実施状況(全ての材料) 材料の規格、寸法、マーク、刻印等が確認できるようにロッドテープ等の測定器具を使用する ※監督員立会のこと	検査時	実施毎
	土留材料検査	土留材料検査	矢板幅、矢板長がロッドテープ等で確認できること 切梁・腹起し等も確認できること ※監督員立会のこと	〃	〃
土木工事 (測　点)	舗装切断・ 舗装版取壊	舗装切断工	切断状況（切断機械による作業状況が確認できること）	施工中	40m毎に1箇所
		舗装版取壊工	舗装版取壊状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	〃
		取壊舗装版厚み検測	取壊舗装版の厚みが確認できること	施工後	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
土木工事 (測　点)	掘削工	掘削作業状況	掘削作業状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	施工中	40m毎に1箇所
		掘削断面検測	掘削幅、掘削深さが確認できること (背景をいれて撮影すること)	施工後	〃
		会所掘	ロッドテープ等で掘削深さ、延長が確認できること 掘削断面検測とは別に撮影すること	〃	〃
	埋戻工 (配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	砂床工	床均し締固め完了後の埋戻し深さ、砂床厚、埋戻し土が確認できること	〃	〃
	埋戻工	砂巻工	締固め完了後の埋戻し深さ、砂巻厚、埋戻し土が確認できること(背景をいれて撮影すること)	〃	〃
		埋戻(入替)・ 転圧工	締固め完了後の埋戻し深さ、転圧厚、埋戻し土が確認できること(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	40m毎に1箇所 (各層20㎝ごと)
	仮復旧工		路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	40m毎に1箇所
土木工事		小車運搬工	掘削・埋戻時において小車にて運搬する状況が確認できること(背景をいれて撮影すること)	運搬中	実施路線毎
	建設発生土 搬出工	発生土搬出工	トラック積込み状況 (積載状態、運搬車が確認できること)	施工中	適宜
		搬入状況	搬入場所が確認できること	搬入時	〃
	建設廃材処分 (搬出)工	積込状況	トラックへの積込み状況 建設廃材の種類（As殻、Con殻等）の記載 (積載状態、運搬車が確認できること)	施工中	〃
		舗装切断汚泥	汚泥処理装置、汚泥収集運搬車の処理状況が確認できること	〃	〃
		搬出状況	廃棄物処理法に定める、廃棄物を運搬する車両の表示、携帯する書類等が確認できること	搬出時	〃
		積替・保管状況	積替・保管を行う場合はその状況が確認できること	積替時	〃
		搬入状況	最終(中間)処分場の会社が確認できること	搬入時	〃
管工事 (測　点)	管布設工	管吊込据付工	管吊込据付作業の状況が確認できること (背景をいれて撮影すること)	施工中	40m毎に1箇所
	管布設工 (鋳鉄管)	挿入前	挿し口部に白線を表示し、挿入接合状況が確認できること[管材料に管理番号(管番号を明示すること)] ※異形管・ライナ等に注意すること	接合前	〃
		挿入後	挿入後の状態が確認できること (NS・GX形ゲージにてゴム輪位置の確認状況) [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	接合後	〃
		トルクレンチ締付け	トルクレンチを使用し締付けを行っている状況が確認できること(K形やP-Link･G-Link等、締付けトルクの管理が必要な箇所)	施工中	〃
	管布設工 (配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	融着面の切削 マーキング	融着面に波形マーキングの記入状態が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	記入後	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
管工事 (測　点)	管布設工 (配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	融着面の切削完了	融着面に記入した波形マーキングが完全に消えていること 切削機が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	切削後	40m毎に1箇所
		融着面の清掃状況	素手での融着面の清掃状況が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	清掃中	〃
		融着部の固定	クランプを用いたソケットの固定、挿し口マーキングが確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	固定後	〃
		コントローラの正常終了確認	コントローラの表示が正常終了であることが確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	施工後	〃
		インジケータの隆起確認	インジケータの隆起、クランプでの固定、融着完了時刻、冷却完了時刻の記入が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	〃	〃
		融着完了	クランプ固定した状態で、融着終了時刻、冷却完了時刻が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	〃	〃
		管明示ﾃｰﾌﾟ工	ロッドテープ等で貼付け間隔が確認できること [管材料に管理番号(管番号を明示すること)]	〃	〃
	管布設工	管布設工 (土被り)	土被り・官民境界からの寄り寸法が確認できること (ポリエチレンスリーブ被覆完了後)	管据付 完了後	〃
		管布設工 (土被り) 【追加測点】	測点間で土被り等を変更した場合は追加測点を設けること 土被り・官民境界からの寄り寸法が確認できること (ポリエチレンスリーブ被覆完了後)	〃	必要に応じ適宜
		埋設表示シート敷設工	埋戻転圧完了後にGLから敷設高さが確認できること (GLから0.3mの位置に敷設)	施工後	40m毎に1箇所
管工事		排水設備工	排水設備箇所の異形管の布設状況が確認できること(異形管に管理番号を明示し、黒板には撮影する材料の管理番号を記載する) ※ｺﾝｸﾘｰﾄ削孔の場合、削孔径･削孔深の確認	〃	全箇所
		異形管布設状況	異形管の布設状況が確認できること (異形管に管理番号を明示し、黒板には撮影する材料の管理番号を記載する)	〃	〃
		水路伏越 (土被り)	水路両側の伏越深さ(土被り)が確認できること	〃	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
管工事	管布設工 (鋳鉄管)	鋳鉄管切断 (溝切)状況	鋳鉄管切断(溝切)状況が確認できること （切管に管理番号を明示し、黒板には撮影する材料の管理番号、継手形式、口径を記載する）	施工中	路線・口径別に1箇所以上
		管切断面補修工	管切断面補修完了が確認できること (管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、継手形式、口径を記載する)	施工後	全箇所
		ライナ取付け工	ライナ取付けが確認できること (管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、継手形式、口径を記載する)	〃	〃
		切管用挿しﾛﾘﾝｸﾞ取付け工	切管用挿しﾛﾘﾝｸﾞ取付けが確認できること (管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、継手形式、口径を記載する)	〃	〃
		P-Link取付け工	P-Link取付けが確認できること (管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、口径を記載する)	〃	〃
		管明示ﾃｰﾌﾟ工	ロッドテープ等で貼付け間隔が確認できること （管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、口径を記載する）	〃	直管10本に1本以上
	管布設工 (配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管)	配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断状況	配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断状況が確認できること (切管に管理番号を明示し、黒板には撮影する材料の管理番号、口径を記載する)	施工中	路線・口径別に1箇所以上
	弁・栓等設置工	仕切弁設置工	仕切弁の設置状況が確認できること(仕切弁に管理番号を明示し、黒板には管理番号、継手形式、口径を記載する)	施工中	全箇所
		仕切弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	ﾎﾞｯｸｽ材料の組合せ及び設置状況が確認できること(ﾎﾞｯｸｽに管理番号を明示し、黒板にはﾎﾞｯｸｽの総高さの寸法を記載する)	施工後	〃
		仕切弁ﾎﾞｯｸｽ据付位置検測	スピンドルの中心と鉄蓋の中心が確認できること	〃	〃
		ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁設置工	ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁の設置状況が確認できること(ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁に管理番号を明示し、黒板には管理番号、継手形式、口径を記載する)	〃	〃
		ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	ﾎﾞｯｸｽ材料の組合せ及び設置状況が確認できること(ﾎﾞｯｸｽに管理番号を明示し、黒板にはﾎﾞｯｸｽの総高さの寸法を記載する)	〃	〃
		空気弁設置工	空気弁の設置状況が確認できること(空気弁に管理番号を明示し、黒板には管理番号、空気弁口径を記載する)	施工中	〃
		空気弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	ﾎﾞｯｸｽ材料の組合せ及び設置状況が確認できること(ﾎﾞｯｸｽに管理番号を明示し、黒板にはﾎﾞｯｸｽの総高さの寸法を記載する)	施工後	〃
		空気弁据付位置深さ検測	GLから空気弁上部ｶﾊﾞｰまでの深さが確認できること (150㎜≦H≦300㎜)	〃	〃
		空気弁ﾎﾞｯｸｽ据付位置検測	空気弁の中心と鉄蓋の中心が確認できること	〃	〃
		消火栓（排水栓）設置工	消火栓の設置状況が確認できること(消火栓に管理番号を明示し、黒板には管理番号、消火栓口径を記載する)	施工中	〃
		消火栓（排水栓）ﾎﾞｯｸｽ設置工	ﾎﾞｯｸｽ材料の組合せ及び設置状況が確認できること(ﾎﾞｯｸｽに管理番号を明示し、黒板にはﾎﾞｯｸｽの総高さの寸法を記載する)	施工後	〃
		消火栓（排水栓）据付位置深さ検測	GLからｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞまでの深さが確認できること (150㎜≦H≦300㎜)	〃	〃
		消火栓（排水栓）ﾎﾞｯｸｽ据付位置検測	カップリングの中心と鉄蓋の中心が確認できること	〃	〃
		トルクレンチ締付け	トルクレンチを使用し締付けを行っている状況が確認できること(締付けトルクの管理が必要な箇所)	施工中	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
管工事	管防護工	基礎砕石工	高さ､幅､長さが確認できること	施工後	全箇所
		型枠工	〃	〃	〃
		ｺﾝｸﾘｰﾄ工	〃	〃	〃
	水圧試験	通水試験工 管径800㎜以下	通水試験の検査状況が確認できること (監督員立会のこと)	試験時	通水試験区間毎
		水圧試験工 管径900㎜以上	ﾗｲﾅを設置しない直管継手部の内側にﾃｽﾄﾊﾞﾝﾄﾞを設置し、水圧試験工の実施状況が確認できること	〃	全箇所
	既設管撤去工	土工事　なし			
		既設管撤去工 (DIP･VP等)	既設管撤去状況が確認できること (黒板に管種、口径を記載する)	施工中	40m毎に1箇所
		既設管撤去工 (ACP)	既設管撤去状況が確認できること 作業者は保護具等を着用していること (黒板に管種、口径を記載する)	〃	〃
		既設管切断工 (ACP)	切断箇所に水をかけ、湿潤状態が確認できること	〃	適宜
		土工事　あり			
		着手前	工事路線の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	着手前	40m毎に1箇所
		完　成	工事路線の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	完成後	〃
		舗装切断工	切断状況（切断機械による作業状況が確認できること）	施工中	〃
		取壊舗装版厚み検測	取壊舗装版の厚みが確認できること	施工中	〃
		掘削作業状況	掘削作業状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	施工中	〃
		既設管撤去工 (DIP･VP等)	既設管撤去状況が確認できること (黒板に管種、口径を記載する)	〃	〃
		既設管撤去工 (ACP)	既設管撤去状況が確認できること 作業者は防護具等を着用していること (黒板に管種、口径を記載する)	〃	〃
		既設管切断工 (ACP)	切断箇所に水をかけ、湿潤状態が確認できること	〃	適宜
		掘削断面検測	掘削幅、掘削深さが確認できること(背景をいれて撮影すること)	施工後	〃
		埋戻(入替)・転圧工	締固め完了後の埋戻し深さ、転圧厚、埋戻し土が確認できること(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	40m毎に1箇所 (各層20cmごと)
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	40m毎に1箇所

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
管工事	既設管処分工	既設管集積状況(ACP)	撤去管の数量がロッドテープ等で確認でき、ポリエチレンスリーブ(二重)で被覆されていること アスベスト廃棄物の表示(監督員立会のこと)	検査時	適宜
		既設管集積状況DIP・CIP・SP・VP等)	撤去管の数量がロッドテープ等で確認できること (監督員立会のこと)	〃	〃
		既設管積込状況	トラック積込み状況 (積載状態、運搬車が確認できること)	施工中	〃
		搬出状況	現場や仮置き場から搬出する状況	運搬前	〃
		既設管搬入状況(ACP等)	最終処分場等の会社が確認できること	搬入時	〃
		既設管搬入状況(DIP・CIP・SP・VP等)	中間処理場の会社が確認できること	〃	〃
	管末閉塞工	土工事　なし			
		管末閉塞工	管末閉塞工に使用した材料が確認できること	施工後	全箇所
		土工事　あり			
		着手前	閉塞箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	着手前	5箇所毎に1箇所 (同一箇所)
		完　成	閉塞箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	完成後	〃
		掘削作業状況	掘削作業状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	施工中	〃
		管末閉塞工	管末閉塞工に使用した材料が確認できること	施工後	全箇所
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	5箇所毎に1箇所 (同一箇所)
	既設管充填工	注入材料検査	注入使用材料が確認できること(監督員立会のこと)	検査時	適宜
		注入･到達状況	エアミルク等注入状況が使用機械も含め確認できること エアミルク等が到達した状況が確認できること (流出物はﾊﾞｹﾂ等で受けること)	〃	路線毎に1回
		注入材料使用量検査	注入使用材料・使用量が確認できること(監督員立会のこと)	〃	〃
	不断水連絡工	割T字管取付け工	割T字管の取付け状況が確認できること(割T字管に管理番号を明示し、黒板には管理番号、形式、口径を記載する)	施工後	全箇所
		水圧試験工	割T字管の取付け完了後(穿孔前)の水圧試験状況が確認できること(試験水圧0.75Mpaを3分間保持)	試験完了後	〃
		穿孔状況	穿孔機械を含めた作業状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	施工中	〃
		ｺｱ取付け状況(割T字管)	ｺｱの取付け状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	〃	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
給水工事	給水管取替工	着手前	取替箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	着手前	10箇所毎に1箇所 (同一箇所)
		完　成	取替箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	完成後	〃
		舗装切断工	切断状況（切断機械及び汚泥処理装置による作業状況が確認できること）	施工中	〃
		舗装版取壊工	舗装版取壊状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	〃
		掘削作業状況	掘削作業状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	〃
		掘削断面検測	掘削幅、掘削深さが確認できること(背景をいれて撮影すること)	施工後	〃
		管布設工(土被り)	取替箇所の全景及び土被りが確認できること(75㎜以上の口径の場合は、ポリエチレンスリーブ被覆完了後)	配管完了後	〃
		砂巻工	締固め完了後の埋戻し深さ、砂巻厚、埋戻し土が確認できること(背景をいれて撮影すること)	施工後	〃
		埋戻(入替)・転圧工	締固め完了後の埋戻し深さ、転圧厚、埋戻し土が確認できること(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	10箇所毎に1箇所 (各層20㎝ごと) (同一箇所)
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	10箇所毎に1箇所
		給水装置水圧試験工(分水栓)	分水栓取付け完了後(穿孔前)の水圧試験状況が確認できること(配管を含む) (試験水圧1.75Mpaを1分間保持)	試験完了後	〃
		穿孔状況(分水栓)	分水栓の穿孔状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	施工中	〃
		ｺｱ取付け状況(分水栓)	ｺｱの取付け状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	〃	〃
		給水装置水圧試験工(割T字管)	割T字管の取付け完了後(穿孔前)の水圧試験状況が確認できること(試験水圧0.75Mpaを3分間保持) ※50㎜（分水栓以外）は、配管も別途に水圧試験を実施すること	試験完了後	全箇所
		穿孔状況	割T字管の穿孔状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	施工中	〃
		ｺｱ取付け状況(割T字管)	ｺｱの取付け状況が確認できること (穿孔技能者が確認できること)	〃	〃
		配管状況(土被り)	給水管の配管状況・土被りが確認できること	施工後	〃
		止水栓取付け工	止水栓取付け状況が確認できること	施工中	〃
		止水栓筐設置工	止水栓筐の設置状況が確認できること	〃	〃
		止水弁設置工	止水弁の設置状況が確認できること	〃	〃
		止水弁ﾎﾞｯｸｽ設置工	ﾎﾞｯｸｽ材料の組合せ及び設置状況が確認できること(ﾎﾞｯｸｽに管理番号を明示し、黒板にはﾎﾞｯｸｽの総高さの寸法を記載する)	施工後	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
給水工事	給水管取替工	宅地内布設工 着手前	宅地内の全景及び代表部分 同一方向から撮影	着手前	全箇所
		宅地内布設工 完　成	〃	完成後	〃
		宅地内布設工 配管状況	宅地内配管の配管状況が確認できること	配管完了後	〃
		埋設用ﾒｰﾀﾕﾆｯﾄ 設置状況	埋設用メータユニットの設置状況が確認できること	施工後	〃
		量水器ﾎﾞｯｸｽ取 替状況	旧量水器ボックスの状態（施工前）で、新量水器ボックスを側に置き撮影すること	施工前	〃
		宅地内布設工 本復旧工	宅地内舗装復旧の舗装厚が確認できること	施工中	〃
		逆止弁取付け工	逆止弁の取付け状況が確認できること ※メーターを取外した状態で撮影すること （メータユニット設置箇所も同様とする。）	〃	〃
		埋設管表示ﾋﾟﾝ 設置工	埋設管表示ﾋﾟﾝの設置状態が確認できること	施工後	〃
	分水栓締切り工	分水栓締切状況	締切り状態及び深さ(土被り)が確認できること	締切り完了後	5箇所毎に 1箇所以上
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	〃
	給水管締切り工	給水管締切状況	締切り状態及び深さ(土被り)が確認できること	締切り完了後	〃
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	〃
仮設工	土留工	簡易土留工(簡易土留矢板)	背景を入れ、使用枚数(延長)が確認できること 会所掘に伴う簡易土留工の撮影箇所は、測点のみとする	施工後	1施工単位ごと
		土留工(本土留矢板)	打設及び引抜き状況が確認できること (使用機械・背景が確認できること)	施工中	〃
			打設枚数(延長)及び根入れ深さが確認できること	施工後	〃
			切梁・腹起し等の設置状況 (使用機械・背景が確認できること)	施工後	〃
	水替工		水替状況が確認できること	施工中	指定された箇所 1回以上
	仮設配管工	着手前	布設路線の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	着手前	40m毎に1箇所
		完　成	布設路線の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	完成後	〃
		布設状況 (仮設本管)	布設状況が確認できること	施工中	〃

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
仮設工	仮設配管工	布設状況 (仮設給水管)	布設状況が確認できること	施工後	全箇所
		仮設消火栓設置状況	設置状況が確認できること	〃	〃
		撤去状況 (仮設本管)	撤去状況が確認できること	施工中	40m毎に1箇所
		撤去状況 (仮設給水管)	〃	〃	10箇所毎に 1箇所以上
		仮設消火栓撤去状況	〃	〃	全箇所
		土工事　あり			
		舗装切断工	布設時の切断状況（切断機械による作業状況が確認できること）	施工中 (布設時)	40m毎に1箇所
		掘削作業状況	布設・撤去時の掘削作業状況 (使用機械・背景をいれて撮影すること)	施工中 (布設・撤去時)	〃
		掘削断面検測	布設・撤去時の掘削幅、掘削深さが確認できること (背景をいれて撮影すること)	施工後 (布設・撤去時)	〃
		埋戻(入替)・転圧工	布設・撤去時の締固め完了後の埋戻し深さ、転圧厚、埋戻し土が確認できること(使用機械・背景をいれて撮影すること)	施工中 (布設・撤去時)	40m毎に1箇所 (各層20㎝ごと) (同一箇所)
		仮復旧工	路面復旧工(測点)の仮復旧工に準じる	---	40m毎に1箇所
		仮設配管の布設延長検測	仮設配管の露出・埋設延長が確認できること 黒板に口径・露出及び埋設延長を記入 (監督員立会のこと)	検査時	1施工単位ごと
路面復旧工 (測点)	仮復旧工 各工種共通	路盤工 施工状況	すき取り掘削・転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	40m毎に1箇所 (測点と同一箇所)
		路盤工	路面よりの深さが確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	〃
		ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ散布工	広い範囲の散布後の状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	〃	〃
		表層工 施工状況	敷均し転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	〃
		表層工	敷均し転圧完了後、舗装厚が確認できること	施工後	〃
	本復旧工	着手前	測点間にポールを設置する 復旧箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	着手前	40m毎に1箇所 (測点間で撮影)
		完　成	測点間にポールを設置する 復旧箇所の全景及び代表部分 同一箇所で同一方向から撮影する	完成後	〃
		舗装切断工	切断状況（切断機械による作業状況が確認できること）	施工中	80m毎に1箇所
		舗装版取壊工	舗装版取壊状況(使用機械・背景をいれて撮影すること)	〃	〃
		取壊舗装版厚み検測	取壊舗装版の厚みが確認できること	施工後	40m毎に1箇所

※）本復旧工の着手前・完成写真は、工事写真帳の先頭にまとめて、前後の状況が比較できるよう配置すること。

、

区分	工種	種別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
路面復旧工 (測点)	本復旧工	路床工 施工状況	すき取り掘削・転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	80m毎に1箇所
		路床工 深さ検測	転圧完了後に路面よりの深さが確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	40m毎に1箇所
		不陸整正工	不陸整正の実施状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	80m毎に1箇所
		補足材敷均し 施工状況	補足材の敷均し転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	〃
		補足材敷均し工 厚み検測	不陸整正後、路面よりの深さ及び補足材厚が確認できること（背景をいれて撮影すること）	施工後	40m毎に1箇所
		上層路盤工 施工状況	敷均し転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	80m毎に1箇所
		上層路盤工 厚み検測	転圧完了後に路面よりの深さ及び路盤厚が確認できること（背景をいれて撮影すること）	施工後	40m毎に1箇所
		ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ散布工	散布後の状況が確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	80m毎に1箇所
		基層工 施工状況	敷均し転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	〃	〃
		基層工 厚み検測	敷均し転圧完了後、舗装厚が確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	40m毎に1箇所
		ﾀｯｸｺｰﾄ散布工	散布後の状況が確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	80m毎に1箇所
		ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ散布工	散布後の状況が確認できること （背景をいれて撮影すること）	〃	〃
		表層工 施工状況	敷均し転圧状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	〃
		表層工 厚み検測	敷均し転圧完了後、舗装厚が確認できること （背景をいれて撮影すること）	施工後	40m毎に1箇所
		コア採取	抜き取りコアの採取厚さ （監督員立会のこと）	採取後	適宜
	区画線復旧工	区画線復旧工	区画線の施工状況が確認できること （使用機械・背景をいれて撮影すること）	施工中	1施工毎に 1箇所以上
その他	弁操作工	弁操作工	主任技術者又は配管工の弁操作状況が確認できること	作業中	断水回数毎に 1箇所以上
		地域貢献等		実施時	適宜
	指定建設機械使用状況	低騒音型	低騒音型機械の使用が認定シール等で確認できること	〃	使用機械毎 1回
		排出ｶﾞｽ対策型	排出ｶﾞｽ対策型機械の使用が認定シール等で確認できること	〃	〃
		現場標識の 掲示状況	施工体系図・建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識を掲げた状況が確認できること ※建設業許可標識・労働保険関係成立票等	設置後	1工事毎 1回

注1）「適宜」とは、監督員の指示する箇所をいう。

注2）撮影箇所一覧表にない工種等については、撮影時期・頻度等ついて監督員と協議を行うこと。